

この度はブレーキランプ・フラッシュユニットをご購入いただき誠にありがとうございます。
本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。
短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。
充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。 車種毎の配線図を車を購入されたディーラーから入手されると、
当方から具体的な結線先のサポートが可能となります。（必要な部分は、ブレーキランプ周りの配線図です）

それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

本装置の動作仕様は、下記のとおりとなります。

- ◎ブレーキ操作で制動方向に一定以上の慣性力が掛かるとブレーキランプを5回高速点滅させます。
※信号待ちなどのブレーキ操作では慣性力がゼロなので点滅しません。 後続車に不快な思いをさせません。
- ◎ブレーキランプと同時にハザードランプも一緒に点滅動作させることが可能です。
※ハザードスイッチ制御がマイナス制御車両に限ります。 マイナス制御以外の車両ではリレーユニットHRL-O4オプションが必要です。
- ◎点滅は、慣性力検出時に1セットだけ点滅する単発モードと、一定以上の慣性力が掛かっている間 点滅を継続する連続モードを選択可能です。
- ◎どの程度のブレーキで動作させるかはユニット本体の設置角度で自由に設定可能です。 ※下記 ”動作原理と設置方法” をご覧ください。

注意事項

※本ユニットは12V車専用です。 12V車両以外には取付けできません。

取り付け手順

免責事項

装着の着手を以って、ご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着はすべて自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても当社に責は無いものとします。

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。
※作業開始前に下記 配線図 を良く御覧いただき、各配線の接続先についてご理解をお願いします。

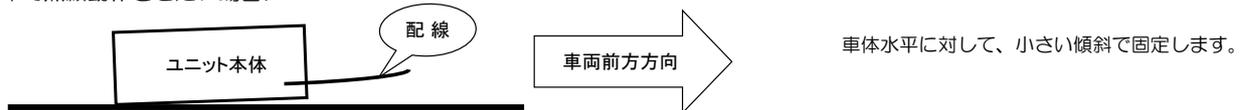
1. ブレーキランプ駆動配線にアクセスできるように、室内トリムを取り外します。
※直接後部ブレーキランプ配線への接続でも問題ございません。
2. 左右ブレーキランプの プラス側配線 を切断します。
3. 切断した配線の ランプ側、室内側 にそれぞれ対応するユニットの配線を接続します。
4. 車両のハザードスイッチ制御配線に、ユニットの対応する配線を接続します。
※ハザードの同時点滅が必要ない場合は、接続する必要はありません。
5. ユニットのボディーアース配線を 車体のアースポイント に接続します。
6. ユニット自体を ユニット配線が下側になるように 傾けた状態にします。
7. フットブレーキを踏みます。このときユニットから カチカチカチッ とリレー音が聞こえると同時にブレーキランプが点滅することを確認します。
※ハザード配線を結線した場合は、ハザードが同時に点滅することを確認します。
※点滅しない場合はユニットの傾きが足りないか、傾ける方向が逆になっている可能性がありますので、再度ご確認ください。
8. 装置を水平よりも ユニット配線が上側になるように 若干傾けた状態で車体に両面テープなどで固定します。
※下記 ”動作原理と設置方法” をご覧ください。
9. ループ線のカットで、 単発モード か 連続モード を選択します。

以上で終了です。 お疲れ様でした。

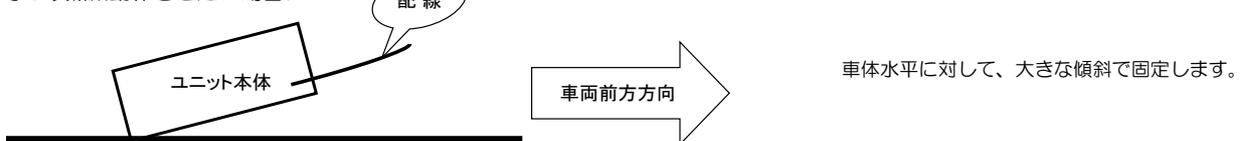
動作原理と設置方法

本ユニットは内部に球状の傾きスイッチを搭載しており、ブレーキ制動時の進行方向への慣性力によって傾きスイッチをON/OFFさせることにより、点滅作動開始トリガーとしています。
そのため、ユニット本体の設置傾斜角度を変えることで、”どの程度のブレーキ制動で動作させるか”を調整することが出来ます。
設置イメージは下図のとおりです。 実走行を繰り返して希望のタイミングで作動する固定状態を探してください。

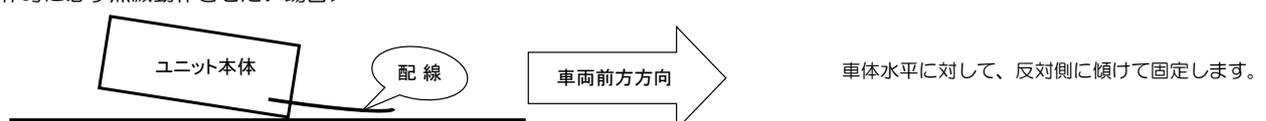
<軽いブレーキで点滅動作させたい場合>



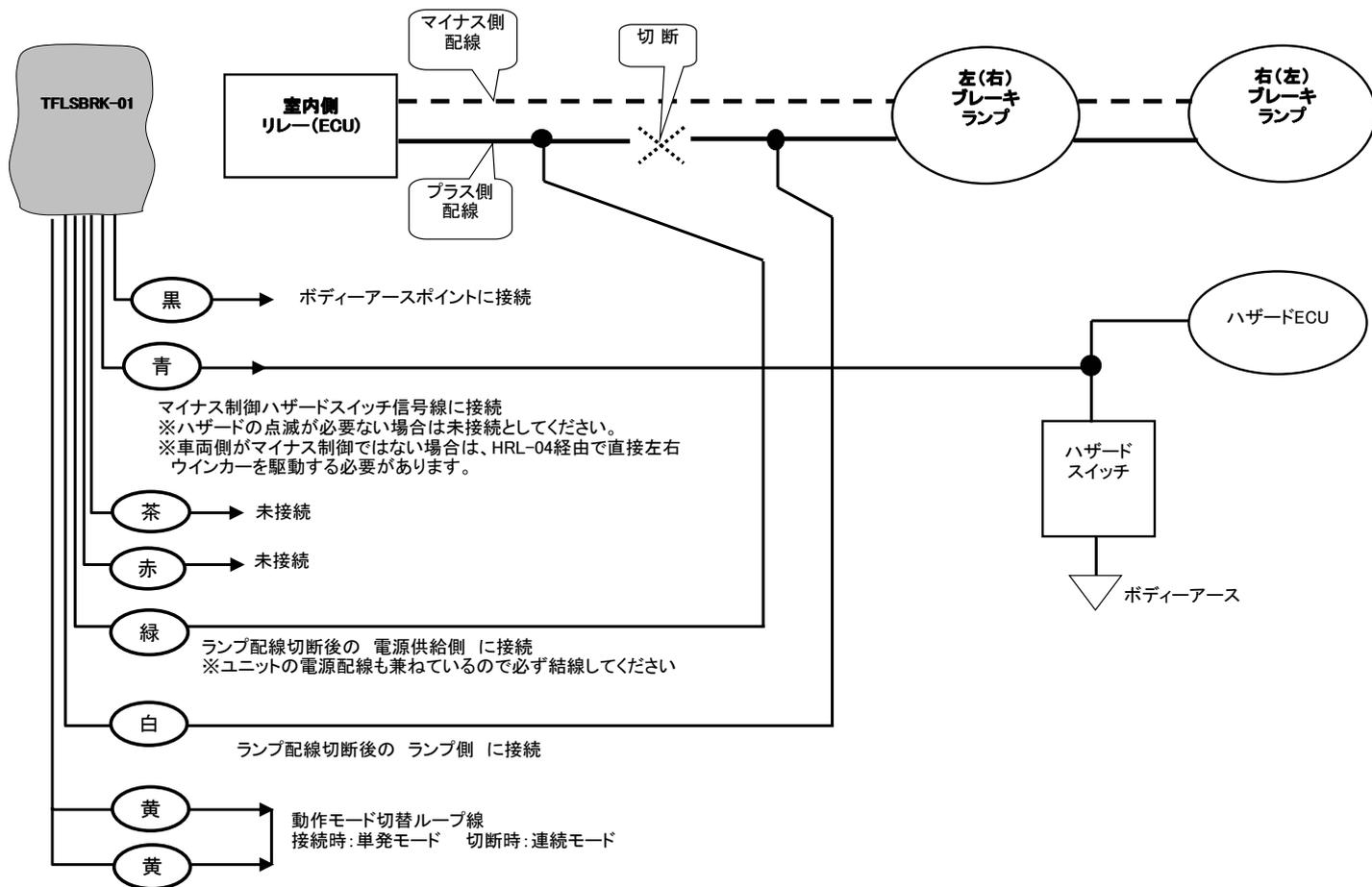
<急ブレーキ時のみ点滅動作させたい場合>



<ブレーキ操作時に必ず点滅動作させたい場合>



結線図 - 車両パターン1 (左右ブレーキランプが直列接続されている場合)



結線図 - 車両パターン2 (左右ブレーキランプが並列接続されている場合)

